

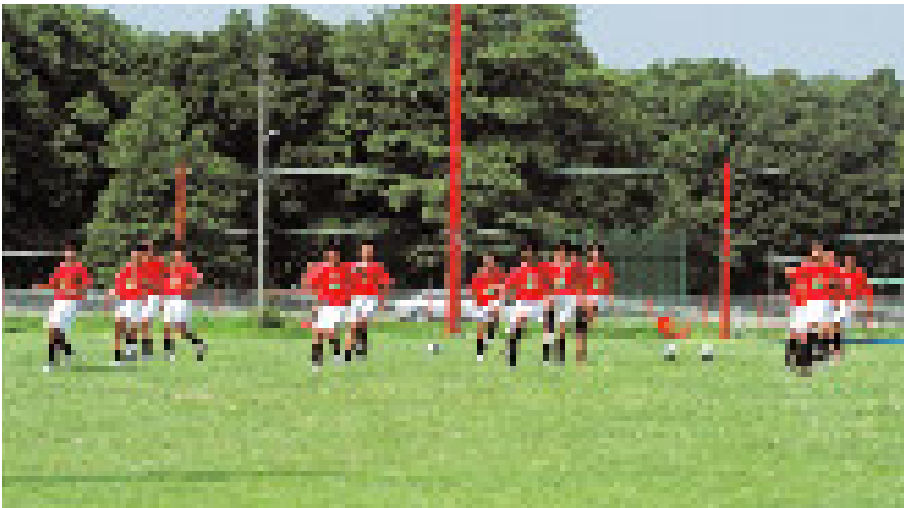


Little Diamonds

JUNIOR YOUTH

日本クラブユースサッカー選手権大会出場記念特集 (U - 15 編)

レッズジュニアユース、第20回日本クラブユース(U - 15)選手権へ全国のJクラブには負けない!



全国大会へ意気高い選手たち レッズランドで

レッズジュニアユースは8月12日(金)から福島県のJヴィレッジで行われる第20回日本クラブユース(U - 15)選手権大会に出場する。同選手権では、第16回大会で全国初優勝を果たしているレッズジュニアユースだが、その後はベスト4に進んだことはない。今季は、テクニックの高い中盤に、成長著しいFW陣、安定感のある守備陣など、全国のジュニアユースチームとレベルの高い試合を展開することが期待でき、また選手層の厚さが連戦を勝ち抜くための底力となっている。予選リーグでは、Jクラブの下部組織3チームと対戦する激戦必至のグループに入った。ここを勝ち上がり、さらに決勝トーナメントを戦うことで、選手たちはこれまでにない経験を積む。先のU - 18大会で、準々決勝で惜敗したユースチームの分まで、全国に浦和レッズの風を吹かせてきてほしい。

大会概要

グループリーグ

32チームが4チーム×8グループに分かれ、リーグ戦を行う。各グループ上位2チーム、計16チームが決勝トーナメントに進む。1試合は70分(35分ハーフ)とする。

決勝トーナメント

優勝および準優勝チームは高円宮杯第17回全日本ユース(U - 15)選手権大会の出場権を得る。3位決定戦は行わない(2チーム3位)。

グループ組み合わせ

- Aグループ 柏 / C大阪 / FCみやぎ / 徳島
- Bグループ 三菱養和 SC / 大阪セントラル / サンフレッチェびんご / ヘミニス金沢
- Cグループ 清水 / 浦和 / 福岡 / G大阪
- Dグループ 横浜M / 01ダイヤモンド鹿児島 / Forza 02 / 神戸FC
- Eグループ 神戸 / 名古屋 / FC. CEDAC / 横浜M追浜
- Fグループ 東京V / 京都 / ジュビロ沼津 / FC五十嵐
- Gグループ 広島 / 鹿島 / 大分 / 山形FC
- Hグループ 千葉 / 札幌 / EXE90 / 名古屋

大会スケジュール

- 8月12日(金) 代表者会議
- ・グループリーグ(レッズユースのみ記載)
- 8月13日(土) vs 福岡 (15:00)
- 8月14日(日) vs G大阪 (13:00)
- 8月15日(月) vs 清水 (10:30)
- ・決勝トーナメント
- 8月17日(水) 1回戦 (11:00 / 13:30)
- 8月18日(木) 準々決勝 (11:00)
- 8月19日(金) 休息日
- 8月20日(土) 準決勝 (11:00 / 13:30)
- 8月21日(日) 決勝 (13:30)

全国での戦いで、チームの真価が試される

監督・名取 篤



全国の中でも関東予選が一番厳しいブロックで、そこを勝ち抜いて出て行くのが一つの関門であり、目標でもありました。それだけに選手たちには自信を持って全国に臨んでほしいと思います。

全国大会では、ふだん対戦できない全国のチームとやるのが非常に楽しみです。特に今回は、Jの下部組織3チームと当たる厳しいグループに入ったと思いますが、そこを勝ち抜くには本当の強さが必要ですし、このチームが試される時だと思います。今年はそれだけの戦力がありますから、僕自身楽しみにしています。

選手には、全国大会という場で個人の力が全部発揮できるように、1試合1試合決勝のつもりで頑張ってもらいたいと思います。

チームとしては、前線から全員が惜しみなく守備をして、高い位置でボールを奪い、チャンスがあればボールサイドのDFも攻撃に参加する、というのが持ち味ですが、相手のカウンターにも備えながら、70分間集中して、最後まで粘り強く戦います。

強いチームが相手ですから、劣勢に立たされることがあるかもしれませんが、そこでチームの真価が問われます。自分たちの力を百パーセント出せば負けることはないと思っています。

一つでも上に行って、いろんなチームと戦いたいですし、最終的には一番上を目指します。自信を持って堂々と戦えれば、それが十分可能なチームです。

ふだんのサッカーをすれば勝てる

キャプテンから

(7)MF 高橋峻希 Takahashi Syunki

166cm / 54kg / 3年(前登録チーム=三原FC)
 特長=技術とスピードを兼ね備えたチャンスメーカー。
 頼れるキャプテン



僕自身、全国大会は初めてですが、いつものプレーをしていれば勝るので、あまり緊張しないでふだんのサッカーをしたいと思っています。全国のいろいろなチームの選手と会えるのが楽しみです。ここ最近、試合が続いているので、夏の暑さにはみんな慣れていきます。毎日、疲れると思うので、夜はしっかりやすんで、次の試合に備えたいと思います。

予選リーグで、G大阪と福岡と清水、というJのジュニアユースチームと当たるということで、みんなモチベーションが上がっています。それと決勝トーナメントに進んで、関東大会でPK負けした三菱養和に借りを返したいです。

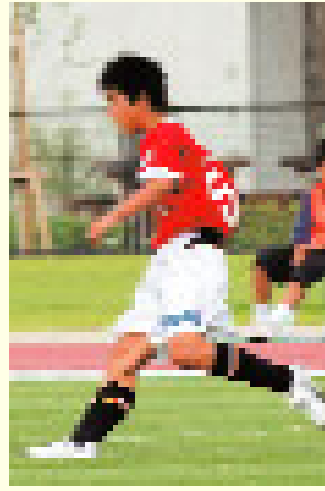
先輩のユースチーム(ベスト8)より上の成績を目指して頑張ります。



(1)GK 慶徳 優
Keitoku Yu
179cm / 71kg / 3年
(大宮早起き)
クロスに対し積極的に飛び出す



(3)DF 和田祐樹
Wada Yuki
166cm / 55kg / 3年
(越谷桜南)
玄人ごみのみのプレーを見せる



(5)DF 加瀬 光
Kase Hikaru
167cm / 54kg / 2年
(江南南)
精度の高いクロスを上げるレフティ



(8)MF 山田直輝
Yamada Naoki
165cm / 57kg / 3年
(北浦和)
見て楽しいサッカーをする守備的MF



(2)DF 池田涼司
Ikeda Ryoji
164cm / 52kg / 3年
(高島平SC)
頑張り屋のムードメーカー



(4)DF 菅井順平
Sugai Junpei
168cm / 54kg / 3年
(美原SC)
正確なロングフィードが持ち味



試合無

(6)MF 永田拓也
Nagata Takuya
168cm / 54kg / 3年
(浦和三室)
抜群のスピードと突破。得点力も高い



(9)FW 岸 幸太郎
Kishi Kotaro
167cm / 58kg / 3年
(大宮指扇)
体の強さを生かしたポストプレー

全国大会出場までのあゆみ

4年ぶり、県大会優勝で関東へ

5月1日から行われた埼玉県予選3次リーグを無失点の3戦全勝で通過。決勝トーナメントも順調に勝ち上がり、5月22日の決勝では、狭山ジュニアを下し、4年ぶり3度目の県大会優勝で関東へ進んだ。

埼玉県予選の記録

3次リーグ

- 5 / 1 5 - α (前半3 - 0) 秩父FC
レッズ得点者 武富、高橋、原口2、岸
- 5 / 3 13 - α (前半4 - 0) ACアスミ
レッズ得点者 岸5、武富3、菅本2、高橋、原口、森田
- 5 / 5 8 - α (前半4 - 0) 草加ジュニア
レッズ得点者 岸2、武富2、池田2、菅本、加瀬

決勝トーナメント1回戦

- 5 / 14 4 - 1 (前半1 - 0) フォルチFC
レッズ得点者 山田2、高橋、永田

準々決勝

- 5 / 15 6 - α (前半1 - 0) 坂戸ディプロマッツ
レッズ得点者 武富2、山田2、永田、原口

準決勝

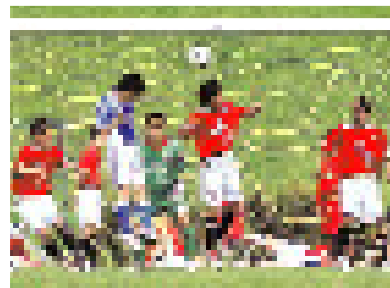
- 5 / 21 1 - α (前半0 - 0) HAN FC
レッズ得点者 岸

決勝

- 5 / 22 5 - 2 (前半2 - 1) 狭山ジュニア
レッズ得点者 岸2、田仲、菅本、永田



県大会では岸幸太郎が11得点。ACアスミ戦では5得点と爆発した(5.3)



予選リーグは3失点で勝ち上がった(5.5/草加ジュニア戦)



(10)MF 田仲智紀

Tanaka Tomonori

166cm / 53kg / 3年
(浦和道祖土)
テクニク抜群のゲームメーカー



(12)DF 森田健介

Morita Kensuke

165cm / 57kg / 2年
(三郷蓮沼)
スタミナ豊富な右アウトサイダー



(14)MF 原口元気

Haraguchi Genki

167cm / 56kg / 2年
(江南南)
優れたドリブルからゴールを狙う



(16)GK 高山直人

Takayama Naoto

176cm / 69kg / 3年
(浦和駒場)
ゲーム感覚に優れたGK



(11)FW 武富尚紀

Taketomi Naoki

165cm / 50kg / 3年
(北本東)
前線のダイナモ。全体の動きを引っ張る



(13)FW 葺本啓太

Fukimoto Keita

169cm / 55kg / 2年
(浦和中島)
やわらかいプレーと豪快なシュート



(15)MF 石沢哲也

Ishizawa Tetsuya

165cm / 52kg / 2年
(北浦和)
無口だがプレーでは3年生に負けない



(17)MF 沼 大輔

Numa Daisuke

170cm / 52kg / 3年
(高島平SC)
強い守備から正確なパスを供給する

関東予選準々決勝で三菱養和にPK負け、6位に

6月11日からの予選リーグでは3試合に全勝し、ブロック1位に。決勝トーナメント1回戦では、坂戸ディプロマツを下し、ベスト8となり、全国出場を決めた(関東予選9位以上が出場)。しかし準々決勝の三菱養和戦では初めて点が取れず、延長でも0-0のままPK戦になり、3-4で敗れた。三菱養和がその後準優勝したため、大会規定により、レズは関東6位という成績になった。

関東予選の記録

予選リーグHブロック

- 6/11 3-0(前半2-0)JACPA東京
レズ得点者 武富2、藤田
- 6/12 5-1(前半2-1)ウイングスSS習志野
レズ得点者 岸2、武富、高橋、藤田
- 5/5 8-0(前半5-0)湘南オエステ
レズ得点者 葺本2、武富、池田、田仲、森田、藤田、OG

決勝トーナメント1回戦

- 7/9 7-0(前半1-0)坂戸ディプロマツ
レズ得点者 永田、田仲、高橋、山田、原口、加瀬

準々決勝

- 7/10 0-0(前半0-0)三菱養和SC
(PK3-4)



初戦のJACPA東京戦で2得点を挙げた武富尚紀(6.11)



決勝トーナメント1回戦まで4試合毎回得点の藤田圭介(6.18/湘南オエステ戦)



(18)FW 藤田圭介
Fujita Keisuke
170cm / 63kg / 3年
(南浦和)
FWからDFまで。チームの俊足レフティ



(20)DF 山崎大成
Yamazaki Taisei
167cm / 58kg / 2年
(柏レイソル)
身体能力は抜群。GKからDFに転身



(22)GK 原 豊寛
Hara Toyohiro
177cm / 69kg / 2年
(高島平 SC)
闘争心を前面に出したプレー



(24)MF 池西 希
Ikenishi Nozomi
154cm / 46kg / 2年
(愛知 FC)
若きムードメーカー



(19)DF 大里康朗
Osato Yasuaki
171cm / 63kg / 2年
(朝霞アズマ)
体を生かしたプレーでDFならどこでも



(21)DF 長谷川 凌
Hasegawa Ryo
170cm / 67kg / 2年
(戸田笹目東)
ヘディング一対一に強いセンターバック



(23)MF 利根川良太
Tonegawa Ryota
160cm / 45kg / 2年
(川口柳崎)
意表を突いたプレーが持ち味のテクニシャン



(25)FW 磯部裕基
Isobe Yuki
153cm / 43kg / 1年
(さいたま大牧)
小柄だが突破力とゴールの嗅覚に優れる

Jヴィレッジでの戦い ~ユース(U-18)選手権から

初めてのJヴィレッジ、初めての対戦相手、そして全国大会のムード

ほとんどの選手が、Jヴィレッジでの全国大会は初めての経験だ。暑い夏の連戦、初めて対戦する関東以外のJクラブ、相手チームの応援。先日のU-18大会でベスト8になったユースチームの戦いを紹介しておこう。



さあ、試合の始まりだ



おなじみの横断幕も応援してくれている



ジェフ千葉のユースは全員が坊主頭で大会に臨んだ



お互いにJのユニフォーム。プライドもある



暑さ対策も万全に



最後まで見守ってくれる家族

ユースチームは広島、千葉のJクラブを含めたグループリーグを2勝1分けの負けなしで通過し、ベスト8に進んだ。準々決勝では同じ埼玉県の大宮ユースと対戦。後半、先制されても追いつき、逆転ムードが高まったが、ロスタイムにPKを与え、1-2で涙を呑んだ。特に前半、レッズユースらしさを出し切れなかったのが残念だった(結果の詳細は「Little Diamonds」第11号で)

